

平成 30 年 12 月

各 位

(公社)愛媛県紙パルプ工業会

生産性向上支援訓練
原価管理とコストダウンセミナーご案内

拝啓 師走の候、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当工業会では独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の支援をいただき標記セミナーを 11 月の業務効率向上のための時間管理セミナーに引き続き開催することとなりました。

つきましては、ご多忙とは存じますが多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。敬 具

記

開催日時 平成 31 年 2 月 26・27 日（火・水）
両日とも 9：00～16：00（休憩 1 時間）
開催場所 愛媛県紙パルプ工業会館 会議室
四国中央市川之江町 4084-1 TEL：0896-58-2055
講 師 学校法人産業能率大学総合研究所
主任研究員 神戸 正志 氏
受講料 会員：2,700 円／人・非会員：5,400 円／人
内 容 働き方改革の流れもあり全般的に生産性向上が求められています。現場の柱でもあるリーダー層には、コストダウンの考え方が求められています。このことから、製造原価の見直し、現場改善で成果を出せるように原価管理・コスト削減・管理技法などを学びます。
※スケジュールは裏面参照
定 員 30 名（多数の場合は調整させていただきます）
申込締切 平成 30 年 2 月 1 日（金）

愛媛県紙パルプ工業会事務局行き FAX：0896-58-6240

| 原価管理とコストダウンセミナーに下記の者が参加します | | | |
|----------------------------|------|--------|-----|
| 事業所名 | | | |
| TEL 番号 | | FAX 番号 | |
| E-MAIL | | | |
| フリガナ 参加者氏名 | 所属役職 | 年齢 | 性別 |
| | | | 男・女 |
| | | | 男・女 |

(独行) 高齢・障害・求職者雇用支援機構への名簿提出のため年齢・性別についてもご記入下さい。

原価管理とコストダウンセミナー プログラム

2月26日（火）9：00～16：00

| | 基本項目 | 主な内容 | セッションの概要 |
|----|--------|---|---|
| 午前 | 原価管理とは | 1. オリエンテーション ・ 研修目的とスケジュール ・ 受講者自己紹介 2. 原価管理の基礎知識 ・ 原価管理の必要性 ・ 原価管理の種類 ・ 原価の概念 3. 原価を構成する要素 ・ 原価を構成する要素を知る ・ 原価を変動させる要因を知る | ・ 原価管理の必要性や種類、原価の概念など、基礎知識を習得する ・ 原価の構成を理解し、原価の変動要因を考える 【演習】コスト変動要因の抽出と整理 |
| 午後 | コスト削減 | 4. コストの計算方法 ・ 原価の構成要素の内容とコストの計算方法を知る 5. モノを対象にしたコスト計算とコスト削減 6. 業務を対象にしたコスト計算と業務の価値 | ・ 原価の構成要素(材料費・労務費・設備費・管理費等)の内容を理解する ・ 原価の計算方法を理解する(主に材料費・労務費・設備費等) 【演習】モノのコスト計算とコスト低減案の作成 【演習】業務を対象にしたコスト計算と改善による業務の価値向上 |

2月27日（水）9：00～16：00

| | 基本項目 | 主な内容 | セッションの概要 |
|----|-----------------|--|--|
| 午前 | 原価管理とは | 1. 財務会計とは ・ 財務諸表の構成と理解 ・ 財務分析の方法 2. 管理会計とは ・ 損益分岐点分析 | ・ 財務会計の必要性とその概要を理解する ・ 財務諸表の内容と見方を理解する ・ 財務分析の方法を理解する 【演習】財務分析の実践(安定性・収益性・成長性の分析) ・ 管理会計の必要性とその概要を理解する ・ 損益分岐の考え方と分析方法を理解する 【演習】損益分岐点の算出 |
| 午後 | 管理技法による標準時間設定方法 | 3. コストダウンの管理技法とは 4. 標準時間の設定方法 5. 管理技法による分析と改善方法 ・ 製品工程分析による改善点の発掘 ・ 作業工程分析による改善点の発掘 ・ 組み作業分析による改善案の作成 | ・ コストダウンの管理技法の概要と手法を理解する ・ 正味時間、余裕時間の設定方法から、標準時間の構成、設定方法を理解する 【演習】製品工程分析の実践 【演習】作業工程分析の実践と改善案の発掘 【演習】組み作業の改善案の作成 |

神戸 正志

かんべ まさし

KAMBE MASASHI

研究員
プロフィール



学校法人産業能率大学 総合研究所
経営管理研究所 技術経営&コミュニケーション研究センター
主任研究員
1969年9月生

2018年4月1日現在

略 歴

- 学歴 1992年 茨城大学工学部機械工学科卒業
2016年 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科修了 技術経営修士（専門職）
- 職歴 1992年 大手專業エンジニアリング会社にて、プラントエンジニアリング業務に従事。海外を含めた数々のプラント建設プロジェクトにてプロジェクトマネジメントに従事。
2001年 独立系経営コンサルティング会社にて、主に製造業、建設業を対象とした設計、調達、製造、工事、メンテナンス、等に関するコストマネジメント、コストリダクション実践研修、実践コンサルティング業務に従事。
2010年 学校法人産業能率大学入職 現在に至る

最近の活動実績

1. コンサルティング

- 外部調達費コストリダクション（・中堅ゼネコン・造船・家電・自動車部品・他）
- 製品コスト競争力強化（・家電製品・銀行ATM・検査機器・他）
- 外注加工企業の製造改善（・板金溶接工程・機械加工工程・樹脂成型工程・部品組立工程 他）
- 現場改善コンサルティング（・食品用軟包材・鉄鋼機器メーカー）
- TRIZ 実践コンサルティング（問題分析/アイデア発想/将来予測）
- 業務改善コンサルティング（・空調機器エンジニアリング）

2. ワークショップ（実践研修）

- 調達・購買力強化ワークショップ
- 現場価値向上（IE）ワークショップ
- 問題解決ワークショップ
- 製品価値向上（VE）ワークショップ
- 原価計算/原価管理ワークショップ
- 現場リーダー育成ワークショップ

3. 教育・研修

- 原価管理研修（初級/中級/上級）
- 調達・購買担当者育成研修
- 創造力開発セミナー
- プロジェクトマネジメント研修
- 品質管理研修
- 業務改善研修（ムリ・ムダ・ムラの削減）
- 管理技術（IE/QC/VE）に関する各種研修
- 調達・購買コストリダクション研修
- 創造的問題解決セミナー
- 生産管理基礎研修
- 生産現場の問題解決研修
- コストの見える化研修

最近の著作物

※著作物には調査報告書・教材・ソフト開発（単著・共著・分担）を含みます。

- 「コスト解析と機能・条件研究による外部調達品の改善」 日本VE協会（2008年）
- 「溶接工程のコストの見える化による、スリムな工程作り」月刊「溶接技術（2014/06）」産報出版
- 「製造現場のマナーと仕事の基本」（共著）産業能率大学
- 「調達・購買担当者の役割と実務」SMBC コンサルティング
- 「“できる”技術者になる！「問題解決デザイン」のノウハウ」（共著）産業能率大学出版部

所属学会・資格

所属学会：日本サプライマネジメント協会

資格：米国ISM認定CPSM (Certified Professional in Supply Management)

米国SAVE認定C.V.S (Certified Value Specialist)